

事例 3

干拓地におけるキャベツ生産団地の形成

～ 国営中海干拓事業「揖屋地区」～

〔松江市・東出雲町〕



【地区の概要】

目的	食糧不足を背景とする新規開田としてスタートしましたが、昭和45年からの米余りから畑造成を主とした計画に変更をし、大規模畑作経営の確立を目指しました。
事業年度	昭和38年度～昭和63年度
事業費	9,431,000千円
工種	造成畑 202.83ha 排水路工 4,224m 道路工 20,513m その他 一式

干拓地での営農状況

キャベツが国の指定産地品目に指定され、平成10年には県内出荷額の32%を占めるなど主要産地に成長しました。

近年、葉たばこの作付が急速に拡大、生産組合が結成されるなど新産地として注目されています(H15目標: 面積9ha、販売額50百万円)

平成11年4月からファーマーズマーケットが毎月第2・4土曜日(H13.3～毎週)に開設、新鮮な農産物等の直販を通じた消費者交流活動が展開(H12販売額:2,007千円)されています。

経営規模3ha以上の大規模農業者が、36人にもなっています。



近年生産が増えている
葉たばこ

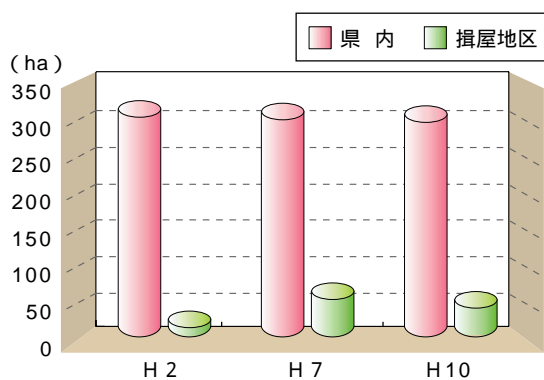


野菜害虫を誘引・捕殺するフェロモン剤の利用により、
環境にやさしい農業を進めています。(キャベツ)

キャベツの生産

		面積 (ha)	出荷量 (t)	販売金額 (千円)
H 2	揖屋地区 (A)	13.7	288	29,632
	県 (B)	310.0		
	A / B	4.4%		
H 7	揖屋地区 (A)	47.5	965	71,086
	県 (B)	293.0	3,199	233,000
	A / B	16.2%	30.2%	30.5%
H 10	揖屋地区 (A)	35.5	765	114,757
	県 (B)	292.0	2,585	361,504
	A / B	12.2%	29.6%	31.7%

作付面積の推移



出荷額の推移

